

日本学術会議の活動状況等に関する年次報告
 (令和3年10月～令和4年9月) 作成の方針について (案)

1. 目的

社会に対して広く1年間の日本学術会議の活動について明らかにするとともに、外部評価有識者による外部評価の基礎資料とするため、令和3年10月から令和4年9月までの日本学術会議の活動状況を報告する冊子を作成する。

2. 構成

- ・構成については例年通り、「第1編 総論」と「第2編 活動報告」に分冊する。
- ・「第1編 総論」を10月総会において配布する。(第1編、第2編ともHP掲載)

第1編・・・別紙のとおり

第2編・・・以下のとおり

第2編 活動報告	
1.	表紙
2.	目次
3.	日本学術会議の概要 (組織の概要)
4.	組織ごとの活動報告
	(1) 総会
	(2) 幹事会及び附置委員会 (委員会：各 1/2 頁、分科会：各 1/3 頁)
	<u>(3) 連絡会議 (各 1/2 頁)</u>
	(4) 部 (各 1 頁)
	(5) 機能別委員会 (委員会：各 1/2 頁、分科会：各 1/3 頁)
	(6) 課題別委員会 (〃)
	(7) 分野別委員会 (〃)
	(8) 地区会議 (各 1/2 頁)
	(9) 若手アカデミー (若手アカデミー会議：各 1/2 頁、分科会：各 1/3 頁)
5.	インパクトレポート

3. 今後のスケジュール

- 7月4日 年次報告検討分科会 ※分科会後、幹事会構成員にメールにて共有
 7月中旬 執筆依頼 ※原稿提出期限は約1か月半後
 9月 年次報告検討分科会 (年次報告案の確認)、年次報告案の修正
 10月24日 総会 (年次報告の配布)

4. 様式

(第2編)

〇〇委員会 (〇〇分科会)				
委員長		副委員長		幹事
主な活動	審議内容			
	意思の表出 (※見込み含む)			
	開催シンポジウム等			
開催状況				
今後の課題等				

■記載いただく内容は、活動の趣旨や審議内容、今後の予定などについて、具体的にどのような成果があがったのか、提言等のフォローアップ等など、数値も用いつつ分かりやすく述べるよう努めてください。関連するウェブサイト等があれば記載してください。

■開催状況の記載について

(例) 令和3年11月8日、令和4年5月13日※メール、など

※正式なメール会議は記載ください (メールでの意見交換等は記載不要)。